

独立行政法人製品評価技術基盤機構
第14回契約監視委員会 議事概要
(書面審議)

1. 議 題

グローバル認証基盤整備事業（大型蓄電池）試験施設の設計、工事請負等及び
用地取得にかかる随意契約について

2. 審議期間

平成26年3月17日～平成26年3月28日

3. 委員

委員長 藤本 瞭一 （早稲田大学招聘研究員／非常勤講師）
委員 大谷 惣一 （シュエット法律事務所 弁護士）
委員 西村 勝秀 （西村勝秀公認会計士事務所 公認会計士）
委員 鈴木 孝利 （独立行政法人製品評価技術基盤機構 監事）
委員 織 朱實 （独立行政法人製品評価技術基盤機構 監事）

4. 議事概要

予定される随意契約調達案件について、各委員に資料を配付するとともに、委員を
訪問又は委員来所により資料説明及び意見聴取を行った。

この結果議題の調達方式について概ね了承された。

なお、各委員の主な意見等は以下のとおり。

各委員の主な意見

設計、工事請負等

- ・大型試験設備の性格上、安全の確保が厳しく問われる案件であり、施工管理など実
施可能な事業者は限られている。本来、国の機関が管理し行うべき性格だと考える
が、それを踏まえるならば、今回の調達方針は妥当だと考える。
- ・製品安全センター本部移設事業と認証基盤事業を一緒に契約するという設計・施工
一体の公募プロポーザル方式をとることについての議論を整理し記録しておくこと。

用地取得

- ・用地取得は供給事業者が限られており、業務の円滑な推進のための立地条件などを
考えれば、随意契約となることが見込まれる。第一候補地は妥当な選択だと考える。
ただし、施設の性格から第一候補地の耐震対策を十分検討しておくことが望ましい。
- ・第一候補地が予定した価格で購入できないリスクを考慮して、その対応を事前に検
討しておく必要があると思われる。

以上